

みちしるべ

M i c h i S h i r u B e

33人の議員による真摯な議論をわかりやすくお伝えします。



12月定例会
1月臨時会

◆補正予算 P2
新型コロナ感染拡大防止と経済活動の両立へ

◆常任委員会 P6
4つの委員会を開催しました

◆一般質問 P10
市政のここが聞きたい

▲おうちの庭で楽しく雪遊び



経済活動の両立へ

同時流行へ備える

委員 約2億4390万円を新型コロナウイルス感染予防・経済活動両立支援の第五弾に充てて

国や県からの支出金や、ふるさと納税寄付金などにより、市の歳入（収入）を増額します。

歳入（一般会計）
34億9680万円

補正予算審査の中から、いくつかの質疑を取り上げ、内容を要約してお伝えします。

12月の主な補正予算 一般会計 34億9,680万円

<主なもの> (千円以下切り捨て)

- ふるさと納税推進事業
..... 10億9,946万円
- 商業高等学校校舎等改築事業
..... 6億943万円
- 中学校トイレ改修事業（4校）
..... 2億1,035万円
- 障がい者自立支援給付費
（障がい福祉サービス給付費） .. 1億7,284万円
- 障がい児通所給付費
..... 1億1,970万円
- 道路橋りょう災害復旧事業
（前明石須刈田線本沢橋） .. 1億円

委員 ふるさと納税寄付金が増額計上されているが、その活用はどうか。
財政課長 山形市発展計画に

いるとのことだが、その財源はどうか。
財政課長 本市独自対策に、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を約9990万円、県支出金を3250万円充当している。また、県から約8780万円が補助される予定である。国や県の支出金で不足する分には、一般財源を充当することになる。

委員 利用者ほどのくらい減少しているのか。
企画調整課長 一番落ち込んだ令和2年4月と前年同月との比較で、**東部循環線が36・7%、西部循環線は42・1%**まで減少している。現在は改善傾向にあり、2年10月末時点で東部循環線が77・3%、西部循環線は74・6%まで回復しているが、今もなお、令和元年度の利用状況には戻っていない状況である。

コミュニティバス運行事業
（東部および西部循環線）
1589万円

掲げる柱立ての中から事業を選択し、代表的なものをPRしながら募集を行っており、**発展計画全体の推進**に役立てる観点で活用している。

新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が減少しているコミュニティバスの継続的な運行を確保するため、乗合バス事業者に負担金を支出します。



▲市民生活に必要なコミュニティバスの運行を支援

委員 妊婦のインフルエンザ予防接種補助申請数は令和2年11月末現在で373件とのことだが、接種率はどうか。
母子保健課長 対象者数を、本市在住の妊婦1471人と見込んでおり、2年11月末現在の接種率は**25・4%**となっている。

インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行の懸念から、妊婦のインフルエンザ予防接種費用の一部助成を行います。

妊婦インフルエンザ
予防接種事業 226万円

新型コロナ感染拡大防止と

季節性インフルエンザとの

高齢者インフルエンザ
予防接種事業
5532万円

新型コロナウイルス感染症との同時流行が懸念されることや、重症化のリスクが高いことなどから、高齢者に対するインフルエンザの予防接種費用の助成額を引き上げます。

委員 インフルエンザワクチンの流通状況はどうか。

健康増進課長 国は令和元年より12%多い6300万人分のワクチンを用意しており、その約9割は2年11月末までに各医療機関に納入済みで、残りは2年12月初めに納入予定と聞いている。

委員 助成額は、今回の補正予算額で間に合うのか。また、対象者数の見込みはどうか。
健康増進課長 65歳以上の高齢者7万3699人が対象である。令和2年度は高齢者に対してワクチンの接種を特に呼びかけているため、当初の接種見込みよりも多い4万4000人と見込んでいる。2年10月末現在で接種者数は約3万1000人である。

可動式ベビーケアルーム
設置事業
299万円

乳幼児などと一緒に来庁する保護者が安心して授乳などができるよう、感染症対策に考慮した可動式ベビーケアルームを設置します。

委員 どのように感染症対策をしているのか。また、導入時期はどうか。

こども未来課長 壁面に空気清浄機を設置するとともに、天井部分がメッシュ構造であるため、換気ができるようになっていて、導入は令和3年2月中旬頃を予定している。

委員 別の場所に移動しての使用も想定しているのか。また、設置の経緯はどうか。
こども未来課長 花笠まつりなどのイベント実施時に、市庁舎正面玄関付近に移動して使用することなどを想定している。また、子育て世代に優しい市庁舎を目指し、**これまでも設置を検討してきたが、感染症対策として導入することから、設置することとしたものである。**

ひとり親世帯応援金
給付事業
4181万円

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて家計が急変し、収入が減少した低所得のひとり親家庭に対して、応援金を支給します。

委員 給付方法とスケジュールはどうか。

家庭支援課長 指定された口座へ3万円を入金することとしている。給付を受けるかの意思確認期間を設けることになっており、支給開始は令和3年1月中旬から下旬と想定している。令和2年度内にすべて支給予定である。

道路橋りょう災害復旧事業
1億円

令和2年7月豪雨で損傷した、前明石須刈田線本沢橋の橋脚部と橋桁の復旧工事を行います。

委員 本沢橋の工事完了時期の見込みはどうか。

道路維持課長 2年11月下旬に国の災害査定が終了したことから、現在は12月下旬に工事の発注ができるように準備を行っている。3年1月下旬から工事に着手し、**4年3月末に工事が完了する予定である。**



▲市庁舎内に設置予定の可動式ベビーケアルーム

山形市休日夜間診療所人材
確保補助金 2800万円

インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行が懸念されることから、山形市休日夜間診療所の医療体制を支援します。

委員 必要に応じて医師や看護師を増員することだが、新型コロナウイルス感染症の対応なども行うのか。

保健総務課長 休日夜間診療所は、初期救急医療を担う診療所であり、患者に発熱症状があった場合でも受け入れを断ることはない。



▲発熱などの症状がある場合は受診前にお電話を

委員 保育士の採用が増えたことによる増額なのか。
保育育成課長 宿舍を借り上げた事業所に補

申請予定件数が当初の見込みより増加したことにより、所要額を増額します。

保育士宿舍借り上げ
支援事業費補助金
(民間立)
426万円

委員 感染を心配しての受診控えにより、受診率が減少していることは明らかであり、発熱症状がある人とならない人と分けた動線の確保などの対策が必要だと考える。感染防止対策を講じた上で、広報が必要と考えるがどうか。
保健総務課長 休日夜間診療所出入り口は2カ所あるため、症状に応じて動線を分けるなどの対応をしている。発熱症状があり休日夜間診療所を受診する際は、事前に電話をした上で受診するよう、広報やまがたなどで周知している。年末年始の診療体制も12月15日号の広報やまがたで周知する。

委員 支給実績はどうか。
企画調整課長 市内に本社、営業所があるタクシー事業者71者のうち70者、自動車運転代行業者44者のうち41者から申請があり、交付している。

令和2年5月に補正した、タクシー事業者や自動車運転代行業者への支援事業の実績の確定に伴い、減額します。

新型コロナウイルス感染症
対策タクシー事業者及び
自動車運転代行業者支援
補助金 △113万円

助する制度であるが、採用者が増えたというよりは、新規採用職員や潜在保育士を雇う上でのアピールポイントとなっているため、事業所からの申請が増えたと考えている。
委員 今後、制度が周知されて申請件数が増加した場合、市の負担も増えてくると思うが、上限なく増やしていく考えなのか。
保育育成課長 保育士の確保が難しい状況が続いているため、**保育士確保対策**として事業所の要望に応えていきたい。

委員 支給実績はどうか。
企画調整課長 1550人を見込み、予算を計上したが、申請があったのは968人で、申請率は62・5%であった。対象の学生が、どこに居住しているか把握することが難しいため、市内に居住する保護者に向けた周知に力を入れ、広報やまがたや新聞などで周知を図ってきた。また、対象

令和2年6月に補正した、県外在住学生への支援事業の実績の確定に伴い、減額します。

県外在住学生支援事業
△224万円

委員 補助の基準は、他自治体と比較してどうか。
ごみ減量推進課長 本市の取り組みは、**国からも先進事例**

令和2年4月に補正した、飲食店などへのごみ処理費補助事業の利用が、見込みよりも少なかったことに伴い、減額します。

新型コロナウイルス感染症
対策飲食店等事業系ごみ
処理費補助事業
△4130万円

の学生向けに、市ホームページやSNSなどでも周知に努めたところである。

3月定例会の日程 (予定)

2月25日(木)
～3月23日(火)

日程は変更になる場合があります。
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎023 (642) 8404



▲感染リスク軽減が期待されるレバー式水栓

委員 手をかざすだけで水が

新型コロナウイルス感染症防止対策として、学校施設のトイレの蛇口を回転式からレバー式に交換します。

感染予防及び経済活動再開対策 学校トイレ水栓改修事業 452万円

として取り上げられている。できるだけ多くの事業者から活用してもらえよう、2年4月から6月の売り上げが前年同月比5割以下を目安とし、約半数の店舗が対象となるよう制度設計を行った。

出る非接触型自動水栓にしなかつた理由は何か。

教委管理課長 今回設置するレバー式の蛇口は肘で操作で

き、ウイルスが肘に付着しても、肘は目や口などに触れないことから、感染症対策としてベターである。自動水栓はベストではあるが、経費の観点も踏まえ、レバー式とするものである。

委員 手で触る箇所が多くある中で、トイレの蛇口改修を行うことにした理由は何か。

教委管理課長 トイレ後の感染リスクが高いことが厚生労働省などから示されているため、改修することとした。今後は水飲み場の蛇口も、学校活動に支障がないか確認しながら、改修する予定である。

山形学園指定管理料の債務負担行為
限度額9億6250万円

山形学園の指定管理に対する限度額を設定します。

委員 前回の指定管理者指定時と比べ、指定

管理料の限度額の増減はどうか。

家庭支援課長 保育士を契約職員から正職員に切り替えて

募集を行っているため、人件費が増加している。前回と比べ、限度額は約1億2000万円の増となっている。

(仮称)Q1やまがたクリエイティブセンター
運営事業の債務負担行為
限度額4億1620万円

創造都市の拠点施設として、山形まなび館を(仮称)Q1やまがたクリエイティブセンターに再整備し、運営するために必要な経費の限度額を設定します。

委員 (仮称)Q1やまがたクリエイティブセンターのテナント募集は、令和3年度から行うと認識していたが、令和2年12月1日から仮募集を開始したと聞いている。どのような状況なのか。

企画調整部長 2年度は、リサーチの一環として仮募集を行い、使用希望者と話がまとまれば、3年度に仮契約を行いたいと考えている。

(仮称)山形PAスマートインターチェンジ整備事業の繰越明許費
8820万円

令和2年度の事業進展状況を踏まえ、未執行の予算を3年度へ繰り越します。

委員 実施設計の発注に遅れ

が生じたとのことだが、進展状況はどうか。
まちづくり政策課長 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業用地の確定に遅れが生じ、2年度内の用地取得が困難となったが、3年度早々に契約したいと考えている。工事の着手は、稲刈り後となるため、遅れによる影響は少ない。

1月臨時会

1月臨時会を令和3年1月6日に開催しました。

新型コロナウイルス感染症患者の発生増加やGoToトラベルキャンペーンの全国一時停止などにより、年末年始において打撃を受けている業界などへの支援に関する令和2年度一般会計補正予算が上程され、総務および産業文教分科会に分割付託の上、審査を行いました。

詳細な審査の後、本会議を再開し、予算委員長の報告を受けて採決した結果、全員異議なく可決しました。

1月の補正予算 一般会計 4億1,265万円

<主なもの> (千円以下切り捨て)

- 感染予防及び経済活動再開対策 飲食業等支援給付金 …… 3億円
- 新型コロナウイルス感染症対策 雇用調整助成金申請支援補助金 …… 5,422万円

※1 債務負担行為…1つの事業が単年度で終了せずに、後年度においても負担しなければならない場合に、議会の議決を経てその期間と額を確定するもの。
※2 スマートインターチェンジ…高速道路上などに設置されているETC専用のインターチェンジ。

総務 厚生

産業文教 環境建設

4つの委員会を開催しました



▲高齢者へ福祉サービスを提供している菅沢荘

委員 指定管理者の選定を非公募としている理由の「利用者との信頼関係」は重要だと思いが、競争原理が働く公募制とすべきではないか。
長寿支援課長 利用者および入所者と職員の間での信頼関係を維持していくことが重要で

福祉施設のうち菅沢荘など6力所の指定管理者を指定

福祉

委員 どのような任務分担を考えているのか。
行政経営課長 部局ごとに担

委員 副市長2人制を導入している中核市はどのくらいあるのか。
行政経営課長 中核市60市のうち、本市と越谷市を除いた58市が2人もしくは2人以上の複数人制を導入している。

副市長の定数を1人から2人へ変更

市役所

当を定めるのが一般的であり、出身団体や専門分野などを勘案しながら検討していく。
委員 副市長を2人にする理由は何か。
行政経営課長 中核市移行に伴う行政需要の増加に加え、健康医療先進都市や発展計画の推進、行政のデジタル化や新型コロナウイルス感染症への対応などのさまざまな重要課題に、迅速かつ的確に対応していくために必要である。

委員 管理運営経費の内容と収支計画の最適性および実現可能性の項目の点数が他の審

野草園の指定管理者を指定

まちづくり

あると判断した。また、山形市社会福祉事業団設立の目的や、これまで培ってきたノウハウなどにより、より効果的な運営ができると判断し、非公募とした。今後、指定管理者制度の趣旨を踏まえ、公募制の検討を引き続き行っていく。



▲市民の憩いと安らぎの場となっている野草園

査項目に比べ低いが、状況はどうか。
公園緑地課長 専門性を要する業務が多く、経費の増加が予想されることから、収支計画の目標額まで達しないのではないか、と審査委員会が評価したと思われる。できるだけ低料金で多くの方に利用してもらいたいと考えており、指定管理者も同様の認識である。
委員 利用拡大のため、年間パスポートの導入が有効であると考えますが、市が意見することは可能なか。
公園緑地課長 指定管理者と実施に向けた協議を行うことは可能である。



▲道の駅（仮称）蔵王の整備予定地と周辺施設

令和3年度からの尾花沢市および大石田町との連携中核都市圏の形成に係る連携協約締結に向けて協議することを決定

委員 3年度から7市7町と連携することになるが、どのような形で連携中核都市圏の推進を図るのか。

企画調整課長 具体的な事業を検討するため、14のワーキンググループを設置しながら、本市だけではなく、互いがよくなる観点で協議を行ってきた。その結果、3年度は、既存の33の事業に加え、6つの新規事業を進める予定である。

委員 7市7町では、どのくらいの人口規模になるのか。
企画調整課長 平成27年度の国勢調査の結果によると、約55万1000人となる。

委員 本市の人口規模と連携中核都市圏の人口規模では、実施できる事業なども変わってくるが、連携を検討している事業はあるのか。

企画調整課長 市町が連携し、市有施設の広域利用などを行うことで、スケールメリットが生まれることから、より圏域のパワーを生かせるような施策も今後協議していきたい。
企画調整部長 準備を進めている炊飯工場を連携中核都市圏事業として実施することによって特別交付税や有利な起債が活用できる。炊飯施設の老朽化は共通課題であり、大きなメリットと捉えている。

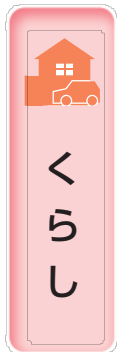
道の駅（仮称）蔵王整備事業用地の取得を決定

委員 4人の地権者は、どのような反応を示しているのか。
企画調整課長 難色を

示すようなことはなく、最終的な取得額も含めた話し合いを行っている。今後も誠意を持って交渉に当たりたい。

委員 国と市で、それぞれ取得する土地があるが、造成工事後、一体的な整備が必要となった場合、市道の付け替えなどは可能なのか。

企画調整課長 DBO事業者から提案があれば協議することになる。地元の方の利用に配慮しながら、最善の方法を模索していく。



山形市国民健康保険税条例の一部を改正

委員 新型コロナウイルス感染症関係で減免申請を行う場合の手続きに関する周知が必要だと思うが、対応はどうか。
国民健康保険課長 広報やまがたにお知らせを掲載するとともに、市ホームページでは、申請書などをダウンロードできるようにしている。また、納税通知書送付の際に、減免制度の資料を同封している。

市政トピックス 2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指します
～令和2年10月19日「ゼロカーボンシティ」を表明～

本市は、市民・事業者と一体となって、将来にわたって健康で安心して暮らすことができる環境を次世代に引き継いでいくため、2050年に二酸化炭素排出の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」へ挑戦することを表明しました。

排出実質ゼロとは、二酸化炭素などの温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と、森林などの吸収源による除去量との間の均衡を達成することです。

「ゼロカーボンシティ」実現に向けた取り組みの方向性は、現在策定中の（仮称）第4次山形市環境基本計画（計画期間：2021年度～2030年度）に盛り込む予定です。



※「ゼロカーボンシティ」とは・・・

2050年に温室効果ガスの排出量または二酸化炭素を実質ゼロにすることを旨を首長自らが、または地方自治体として表明した地方自治体のこと。環境省ではこうした自治体を「ゼロカーボンシティ」とし、国内外に発信している。

※1 7市7町…山形市、寒河江市、上市市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、山辺町、中山町、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町。
※2 DBO…民間の事業者に設計（Design）、建設（Build）、運営（Operate）を一括して委ね、施設の所有や資金調達は公共側が行うもの。

請 願

12月定例会で審議された請願は、継続審査中の2件と新たに提出された1件です。各委員会での審査結果は以下の通りです。

	件名	提出者	紹介議員	所管委員会	結果
請 願	第2号(2)	継続	阿曾 隆	総 務	継続審査
	第6号(2)	継続	松井 愛 佐藤亜希子	産業文教	不採択
	第7号(2)	新規※	阿曾 隆	総 務	継続審査

(※印は意見陳述が行われたものです。)

●議決の結果は、9ページ「議案・請願の賛否一覧表」をご覧ください。

人事案件

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

固定資産評価審査委員会委員のうち、1人の任期が令和2年12月21日で満了することに伴い、引き続き平吹氏の選任について全会一致で同意しました。

平吹和之氏

選挙管理委員会委員と 同補充員を決定

令和2年12月22日の任期満了に伴い、地方自治法の規定により選挙を行った結果、次の方が当選されました。

【選挙管理委員会委員】

岩城慎二氏
高橋春美氏
高橋啓市氏
栗原啓介氏
伊藤陽介氏

【選挙管理委員会補充員】

安部信雄氏
佐藤昌子氏
安藤昌子氏
安藤信雄氏
沼澤美華氏



議会報研修会に参加

令和2年11月12日に尾花沢市で、県市議会議長会主催の議会報研修会が開催され、本市議会の議会報委員6人が参加しました。

株式会社山形新聞社尾花沢支社長の玉虫秀明氏を講師に迎え、「これからの議会報づくり」の演題で行われました。

議会報を読んでもらいやすくするポイントとして、文章で情報を詰め込むよりも、記事をピックアップして写真やスペースを増やすことや、作成側が伝えたい情報だけではなく読者が求めているものを掲載することなどを学びました。

今回の研修で学んだことを生かし、より分かりやすく読みやすい、魅力ある「やまがた市議会報みちしるべ」の作成に努めてまいります。



市政のことが聞きたい



一般質問とは 議員が、市政全般にわたる事務の執行状況や政策方針について、市長や担当する各部長などに質問することです。12月定例会では、1日と2日の2日間で8人の議員が質問を行いましたので、主な質問を紹介します。



仁藤 俊 議員

子どもの貧困 誰ひとり取り残さない!!

Q 新型コロナで「子ども食」の支援が難しくなっている。

「子ども宅食」のような出前

A 型支援を制度化し、導入すべく考えているかどうか。

A 子どもの貧困対策は、地域で孤立し、支援が届きにくい「見えない貧困世帯」の状況を

把握するとともに、困難を抱える子どもに必要な支援へつなげることが求められている。子ども宅食などは、先進事例を参考に調査研究していく。

Q 山形まなび館を、バリアフリーやユニバーサルデザインの考え方を取り入れた施設にしてはどうか。

A 令和3年度実施の工事で

正面入口の自動ドアや、建物西側へのエレベーターを設置する。また、西棟の北側にはスロープを設けるとともに、接続する出入り口に自動ドアを整備する。さらに、館内の各階段に手すりを設置するなど、利用しやすい環境を整備していく。

Q 山形まなび館は2022

年の全館オープンを目指しているが、進展状況はどうか。
A 現在、実施設計に取り組んでおり、2、3階は創造都市の拠点としてふさわしい活動を行うシェアオフィスに加え、オープンアトリエ、上映会などにも活用できるイベントスペースなどを検討している。ダイナミックな空間を現代の感覚で再利用していく。

質問者 仁藤 俊 (新 翔 会)
質問の要旨 子どもの貧困・「子ども宅食」制度の導入、中心市街地の活性化、空き家利用の集会所
斉藤 栄治 (令 政 会) 新型コロナ対策、新型コロナ対策下における経済対策、福祉施策、災害対策、公共交通網の活性化策、スポーツ振興策 ほか
今野 誠一 (日本共産党山形市議団) 新型コロナ対策、農業の振興、機構再編と人員配置
武田 新世 (公明党山形市議団) 子宮頸がんワクチンの情報提供、SDGsとゼロカーボンシティ宣言、市立図書館における読書環境の充実 ほか
武田 聡 (緑 政 会) 新型コロナの現状を踏まえた対応策、新しい生活様式実践へ向けた対応、命を守るための防災・減災対策 ほか
田中 英子 (新 翔 会) 健康医療先進都市として、新市民会館、日本一の観光案内所、西部地区の活性化、有害鳥獣に関する啓発 ほか
菊地 健太郎 (新 翔 会) 第3期山形市中心市街地活性化基本計画の推進体制、済生館の建て替え、山形を日本のAIの中心地に ほか
川口 充律 (市民連合山形市議団) 社会全体で人々を支えるしくみの確立を、ゼロカーボンシティの表明、南沼原小学校新校舎建設後の周辺環境整備 ほか

※紙面の都合により、「新型コロナウィルス感染症を」「新型コロナ」と表記しています。

●一般質問の内容を要約して掲載しています。また、議会ホームページで録画映像がご覧いただけます。

※1 ユニバーサルデザイン…文化・ことば・年齢・性別などの違いや障がいの有無などを問わずに利用できることを目指した製品や情報などの設計(デザイン)のこと。

※2 シェアオフィス…同じスペースを複数の利用者によって共有するオフィスのこと。



▲中心市街地活性化の一翼も担う済生館



新型コロナウイルスに負けない まちづくりを

さいとう
齋藤 栄治 議員

Q 文化と創造性を軸に、創造都市推進事業を通じてSDGs達成に貢献するとしているが、具体的な取り組みはどうか。
A 現在、本市の伝統工芸や伝統文化を短編映画化し、海外での上映を通じて、地元産業の振興や地元映像作家の育成を行っている。

Q カラス対策は地域住民と連携して取り組んでいくとのことだが、撃退計画はどうか。
A 現在、捕獲による個体数調整と追い払いを二つの柱としながら、道路管理者や電力会社と被害軽減や解消に向けた連携を行っている。追い払いに有効なレーザーポインター照射には、地域住民の協力が欠かせないものである。

今後、専門家からの指導や助言を受けながら、効果的な方法を研究していく。
Q 中央公民館（a2）のトイレは和式が多い。洋式化を行っているかどうか。
A 洋式トイレは各階男女1基ずつのみの設置であり、今後、利用者の意見を聞きながら、改修の検討をしていく。

Q 空き家などを集会所とする際の賃貸料の補助条件を緩和し、高齢者が笑って集えるコミュニティづくりを支援しているかどうか。
A 地域ニーズや建設費などの実態を踏まえるとともに、高齢者の居場所づくりの必要性など幅広い視点から、集会所の在り方も含めて検討していく。



▲子ども宅食の導入を！

への補助を行ってはどうか。
A 休日夜間診療所の医療体制を維持するため支援する。国や県の動向を注視しながら、必要に応じて適切に対応する。

Q 旧大沼デパートと済生館を直接通路でつなぎ、患者の利便性向上と、まちなかへの誘客推進を図ってはどうか。
A 中心市街地の活性化も考慮しながら、医療の質を担保するために求められる機能など、さまざまな観点での検討が必要だと考えている。

Q 鈴木第2号幹線沿いの水上がり解消のため、県に野呂川改修の早期実現を働きかけてはどうか。
A 県から8年度完成を目標に進めていると聞いているが、早期完成を要望していく。

Q 地域公共交通計画策定に向けた進展状況はどうか。
A バス利用者アンケート調査の実施と集計・分析のほか、市公共交通活性化協議会で学識経験者などの意見を聞きながら、検討を行っている。

Q 高齢者外出支援事業の充実を求めているが、どのような検討を行っているのか。
A 地域や高齢者のニーズなどを踏まえ、公共交通全体の見直しの中で検討していく。

Q スポーツに親しむ機会確保のため、多目的グラウンドを新たに整備してはどうか。
A 西部工業団地内の新たな公園整備事業で、多目的グラウンド整備を計画している。

Q 花笠パレードコースをすずらん通りなどに移し、霞城公園周辺の夜店と一体となつて祭りを盛り上げてはどうか。
A 場所も含めた開催方法を関係団体と協議していく。

Q 東消防署本署の建物は相当古いが、建て替えなどの整備計画はあるのか。
A 老朽化や緊急度を見極めながら、整備に向け検討する。

Q コロナ禍の令和2年度上期の済生館経営状況はどうか。
A 前年度比較では、約3億5400万円、6・8%の減収となっている。

Q コロナ禍での医療従事者への慰労金支給と、医療機関

Q 気になる子どもに関する

Q 気になる子どもに関する

Q 気になる子どもに関する

※1 SDGs…持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）の略称。地球環境と人々の暮らしを持続的なものとするため、すべての国連加盟国が2030年までに取り組む17分野の目標。

※2 気になる子ども…保育者にとって保育が難しいと考えられている子ども、特別な配慮を要する子どもなどを指すが、明確な定義はない。



コロナ対策の充実に向け 人員配置の強化を図れ

今野 誠一 議員

Q 新型コロナの新局面を前に、これまで以上の対策を実施すべきではないか。

A 令和2年11月から、発熱などの症状のある患者が、かかりつけ医などの電話相談で診療可能な医療機関の紹介を受け、必要に応じた検査が可能となっている。



▲新型コロナ対応の拠点 市保健所

Q 市保健所では、陽性者の保護や感染経路の追跡などを専門的に行う人員の確保が不可欠と考えるがどうか。

A 保健師などの専門職が積極的疫学調査などに注力できるように、職員の応援体制を構



SDGsとゼロカーボン ティの実現をリードせよ！

武田 新世 議員

Q SDGsとゼロカーボンシティの達成に向け、また、環境対策推進とともに観光振興への寄与も期待できるため、

A 山形市地域公共交通計画に、公共交通機関への環境負

ベニちゃんバスなどの公共交通機関へ、環境負荷の少ない車両を導入してはどうか。

A 山形市地域公共交通計画に、公共交通機関への環境負

ベニちゃんバスなどの公共交通機関へ、環境負荷の少ない車両を導入してはどうか。

A 山形市地域公共交通計画に、公共交通機関への環境負

ベニちゃんバスなどの公共交通機関へ、環境負荷の少ない車両を導入してはどうか。

A 山形市地域公共交通計画に、公共交通機関への環境負

ベニちゃんバスなどの公共交通機関へ、環境負荷の少ない車両を導入してはどうか。

築している。

Q 新型コロナ感染予防・経済活動両立支援の今後の方針と財源確保の考え方はどうか。

A 今後も状況を見極めながら、市民や事業者の負担軽減に向けた対策を講じていく。その財源は、臨時交付金やイペントの中止・縮小による不

Q 新型コロナに対応するため、発展計画2025の見直しが検討されているが、その内容はどうか。

A 感染症に強いまちづくりの視点を加え、感染症予防対策やキャッシュレス化の推進などを検討している。また、テレワークの推進や行政のデ

荷の少ない車両の導入も盛り込むことを検討していく。

Q 子宮頸がん予防ワクチン

接種の情報提供のため実施した、個別周知の詳細はどうか。令和3年度は全対象者へ郵送にて周知すべきではないか。

A 高校1年相当の女子と保護者へ国が作成したリーフレットを個別に郵送した。3年度

デジタル化など、アフターコロナを見据えた新たな取り組みを検討していく。

Q 転作物の本作化を進めるに当たり、具体的な計画目標を立てるべきではないか。

A 本市では具体的な計画・目標は設定していないが、集団転作に取り組む各生産組織において設定している。また、平成30年度以降は、面積助成から収量助成に制度を見直し、本作化を推進している。

Q 特に、小麦への転作は、

学校給食用のパンや麺への利用を推進することで、本作化につながるかと考えるがどうか。
A 担い手不足や乾燥調製施設・販売などの課題もあるため、農業戦略本部で議題とし、関係機関と連携し進めていく。

においても、小学6年生から高校1年生までの女子と保護者へ個別に情報提供を行う。

Q 読み聞かせに役立ててもら

うため、0歳児の親子に絵本を贈るブックスタート事業や、幼児や児童に本を贈るセカンドブック事業を実施してはどうか。

A さまざまな機会や場所では、市のSNSなどを利用し、

Q 耕作放棄地対策をどのように考えているのか。

A 令和2年度から、農業機械の共同利用支援事業を創設している。また、農業戦略本部において、中山間地域向けの戦略農産物を決定し、耕作放棄地にならないよう取り組んでいく。

Q 生活弱者への支援を充実させるため、生活保護ケースワーカーの増員や、福祉窓口へのコンシェルジュの配置などを検討してはどうか。

A 3年度に（仮称）生活支援室を設置するとともに、ケースワーカーの増員を検討している。また、福祉コンシェルジュの配置は、ボランティアの活用と併せ、必要性も含め、調査研究していく。

発達に合わせた本と出会うことが大切であるため、両事業を検討していく。

Q 市公式ホームページやSNS

を利用し、投票所の混雑状況などをリアルタイムで発信するなど、密集、密接を避けるための工夫をしてはどうか。

A 期日前投票所の混雑状況は、市のSNSなどを利用し、

*1 積極的疫学調査…患者、その家族およびその患者や家族を診察した医療関係者などに対して質問や必要な調査を実施し、情報収集・分析を行うことにより、感染症の発生の状況や動向、その原因を明らかにすること。
*2 テレワーク…情報通信技術（Information and Communication Technology）を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のこと。Tele（離れたところ）とWork（働く）を組み合わせた造語。
*3 コンシェルジュ…利用者に対して必要な案内を行う業務を担当する人。



▲新型コロナによる差別をなくす対策を



たけだ さとし
武田 聡 議員

現状を踏まえた きめ細かな施策展開を！

国がETC2.0搭載車を対象に実施している「賢い料金」を、道の駅(仮称)蔵王でも利用できるように働きかけてはどうか。

利用者の利便性を高めるとともに、新しい人の流れを生み出し、消費活動による地域活性化や山形の魅力発信に

情報を発信する。

つながることから、該当となるよう活動していく。

針を策定した。今後は、市民が乗車する公用バスへ先行して設置するほか、車両更新の際などに順次設置していく。

をするとともに、市単独でも住宅地へ支援してはどうか。



▲公共交通機関へ環境負荷の少ない車両の導入を

※1 ETC2.0…ETC (Electronic Toll Collection System) とは高速道路の料金所で停止することなく通過できるシステムのこと。ETC 2.0は渋滞回避支援や安全運転支援など従来のETCがバージョンアップしたもの。
※2 賢い料金…ETC2.0搭載車が高速道路を降りて道の駅に立ち寄った際に、3時間以内に再び同じ場所から同じ方面へ高速道路を利用した場合は、降りずに利用した料金のままとするもの。

職員的安全意識向上などに加え、移動可能な防犯カメラとして市民の安全を見守る効果も期待できるため、すべての公用車にドライブレコーダーを設置してはどうか。

記録データが個人情報に当たするため、運用に関する指

針を策定した。今後は、市民が乗車する公用バスへ先行して設置するほか、車両更新の際などに順次設置していく。

針を策定した。今後は、市民が乗車する公用バスへ先行して設置するほか、車両更新の際などに順次設置していく。

感染拡大傾向を踏まえ、本市でも「コロナ差別ゼロのまち宣言」の施行など、誹謗中傷などへの注意喚起を強める必要があると思っております。

市民には、良識ある行動を常々お願いしているが、感染者や感染症に関わった方に対し、誤った認識や差別を行わないよう、他自治体の取り組み事例も参考に、地域社会全体の意識の啓発が図られるよう、さらに努めていく。

豪雨時の防災意識や判断能力の向上のため、市が独自に河川監視カメラを設置する

豪雨時の防災意識や判断能力の向上のため、市が独自に河川監視カメラを設置する

豪雨時の防災意識や判断能力の向上のため、市が独自に河川監視カメラを設置する

豪雨時の防災意識や判断能力の向上のため、市が独自に河川監視カメラを設置する

豪雨時の防災意識や判断能力の向上のため、市が独自に河川監視カメラを設置する

豪雨時の防災意識や判断能力の向上のため、市が独自に河川監視カメラを設置する



子宮頸がんワクチン接種率向上に向けた取り組みを

田中 英子 議員

Q より早い年齢からHPVワクチンの接種につながるよう取り組むべきではないか。

A 無料定期接種対象が小学6年生から高校1年相当の女子であることから、令和2年11月に定期接種最終年となる高校1年相当の女子と保護者へ情報提供を行っている。今後も、小学6年生から高校1年相当の女子と保護者へ適切な情報提供を行う。

Q 高齢者の転倒予防などのため、正しい爪の切り方や足の洗い方を学ぶフットケア講座などを開催し、フットケア



▲市街地にも出没し始めたイノシシ



全集中！市街地の活性化を図れ

菊地健太郎 議員

Q 中心市街地の活性化を推進するため、「都市再生推進法人」を立ち上げてはどうか。A 国の支援が活用できるた

め、山形エリアマネジメント協議会と連携した中心市街地活性化区域全体を統括する都市再生推進法人の設立を目指していく。

の重要性を啓発してはどうか。A フットケアをテーマとした健康講座や介護予防教室の実施に向け、対象の年代や、その効果などを検証していく。

Q 旧県民会館跡地に整備計画の新市民会館の施設規模や機能は、市内の他施設と、どのように差別化を図るのか。A 利用者や地域住民などを対象としたアンケート結果を踏まえ、これまで果たしてきた市民の自主的な文化芸術活動や身近に文化芸術に触れる機会を提供する役割を継承、発展させるとともに、広く市民が気軽に立ち寄れる交流の場として、まちのにぎわい創出に寄与する施設を目指す。

Q 日本一の観光案内所整備の進捗状況はどうか。また、

Q 市立病院済生館は、建て替えとなっても同じ場所とすべきと思うがどうか。A 済生館の整備計画は、中心市街地エリアにおける整備を前提に、令和3年度中に、建て替え時期や場所などの方向性を示すよう進めていく。

Q 本市をAI技術の拠点都市とするため、技術者の養成

所をまなび館に設立し、AIやICT関連企業を誘致してはどうか。また、東北大学で整備が進む先端技術「次世代放射光施設」にはAIが必須であるため、新たな仙山連携になると考えるがどうか。A 3年度策定予定のAI活用やスマートシティの取り組みに向けた計画の中で検討するとともに、首都圏のAI技

ブル跡地にこだわらず、早期事業化を目指すとともに、八戸ポータルミュージアムを参考に、地域文化に触れながら観光客も市民も楽しめる複合施設としてはどうか。A 山形駅前に観光案内の拠点設置を考えているが、関係者が新型コロナウイルス対応などで協議が進んでいない状況である。今後も早期実現に向けて調整していく。また、山形の文化が体験できる複合施設機能などの検討も引き続き行う。

Q 元年12月定例会で提案した、清風荘駐車場整備の進捗状況はどうか。A 令和3年度に整備の可能性を具体的に検討するため、現況測量や路線測量を行う。

Q (仮称)山形PAスマー

トインターチェンジ事業の進捗状況はどうか。A 東日本高速道路株式会社による詳細設計が進められており、スマートインターチェンジ整備に必要な用地幅の決定後、直ちに用地測量を行い、用地買収に着手していく。また、4年度から整備工事に着手し、5年度中の供用開始を目指していく。

Q 有害鳥獣出没時の対処方法や通報先を簡単にまとめた市民向けマニュアルを作成し、周知してはどうか。A 野生動物の活動が活発になる時期に、有害鳥獣が現れた場合の対応方法を市広報に掲載している。今後は、ホームページなどの活用とともに、より広く周知を図るための新たな手法を調査研究していく。

術者を招聘し、助言をもらう事業も検討していく。また、次世代放射光施設には、本市や本市内業者も関わってきた経緯もあるため、仙台市から情報を得ながら、今後の連携の可能性を研究していく。

Q 市観光協会とコンベンションビュローの統合に向けたスケジュールや、統合後

の進捗状況はどうか。A 市観光協会とコンベンションビュローの統合に向けたスケジュールや、統合後の進捗状況はどうか。

※1 HPVワクチン…子宮頸がんなどを予防するワクチン。
※2 八戸ポータルミュージアム…八戸市の中心市街地にある施設。歴史や文化の展示ブース、児童遊戯施設などを備えている。
※3 AI…Artificial Intelligenceの略称。大量のデータなどを基にコンピューターが自ら学習し、人に代わり思考や推測、判断などを行う技術。
※4 次世代放射光施設…放射光を使い、あらゆる物質を観察することができる施設で仙台市内にある。



▲二口市有林の由来を示す案内板



川口 充律 議員

社会全体で人々を支える しくみの確立を

Q 創作活動などとあわせてアーティストが移住することで人口増となるよう、積極的な施策を展開してはどうか。

A 令和4年4月1日の統合に向け、協議を進めている。今後は、村山地区7市7町の観光協会と、より連携しながら事業展開していく。

Q 現在大ヒット中の「鬼滅の刃」の舞台である大正期の建物が多く現存する本市を、PRしてはどうか。

A 3年度実施の東北DC（東北6県の自治体や観光関係者とJR6社などが一体となって行う大型の観光キャンペーン）に向けPRを行い、関係機関と誘客に向け協議していく。



▲第二公園内の、鬼滅の刃に登場する無限列車と同型SL

Q コロナ禍の中、営業収益が減退している事業者に対し、重層的かつ継続的な行政支援が必要であるが、今後の考え方はどうか。

A さまざまな経済対策により、企業倒産などをおさえる程度抑えられていると認識しているが、実態を正確に把握し、国の動向などを注視しながら適切な支援策を検討していく。

Q コロナ禍の影響で、会場確保に苦慮しているとの声も聞かれることから、感染予防対策の普及啓発を行いながら、活動団体のニーズに応じて、市有施設の活用も含めた、高齢者の運動や交流活動などを行う居場所の立ち上げや再開に向けた支援を進めていく。

Q 南沼原小学校の改築事業に伴い、現校舍敷地の南側にある忠魂碑の慰霊や管理に支障が生じないよう配慮すべきと考えるがどうか。

※1 東北DC…東北6県の自治体や観光関係者とJR6社などが一体となって行う大型の観光キャンペーン。
※2 社会的検査…介護事業所などの社会的インフラを維持するために、職員や利用者を対象に行うPCR検査のこと。
※3 忠魂碑…戦争などに出征し戦死した、地域出身の兵士を慰霊するために建てられた碑のこと。

山形市議会は、市民の皆さまと共に 新型コロナウイルス感染症の克服を目指します！

令和2年12月定例会で、新型コロナウイルス感染者などへの不当な差別をなくし、諸課題克服を目指す決議を全会一致で可決しました。

誹謗中傷等をなくし共に支え合うことにより 新型コロナウイルス感染症の克服を目指す決議

現在、新型コロナウイルス感染症は、全国的に急速な感染拡大が進んでおり、本市においても11月から感染者が急増しています。その中であって、市民の皆様は、一丸となって感染拡大防止に細心の注意を払いながら、社会経済活動の両立に向け、懸命に取り組んでいます。

こうした状況の下、感染者やその家族、学校や勤務先等に対しSNS等の媒体による、匿名での心ない誹謗中傷や、間違った情報の拡散、感染症に対する不安や恐れから、感染者や感染経路を詮索する事例などが発生していることは憂慮すべきことです。

これらの行為は、偏見による不当な差別であり、人権擁護の観点からも看過できません。また、コロナ禍を契機として、山形市民が長い間培ってきた「思いやり」や「やさしさ」という美しい文化を失ってしまうことは、大きな損失であり、何としても防がなければなりません。

新型コロナウイルス感染症は、気づかないうちに誰もが感染する可能性があります。今、私たちが行うべきことは、感染防止策の徹底であって、感染者を誹謗中傷することではありません。医療・福祉従事者をはじめ、多くの方々が困難な状況の中で頑張っています。今こそ、私たち一人ひとりが、共に支え合うことが何よりも大切です。

よって、本市議会は、新型コロナウイルス感染症の諸課題に真摯に取り組んでまいりますので、市民の皆様におかれましても、共に支え合いながら、誹謗中傷や差別、偏見、いじめをなくし、この困難を乗り越えてまいりましょう。



編集後記

まもなく立春。暦の上では春の到来ですが、冬の寒さは今がピーク。コロナ禍の中、インフルエンザなどとともに、感冒の流行はまだまだ予断を許さない状況です。

また、東日本大震災の発災から今年で10年。今なお、避難を余儀なくされている方々がいらっしやいます。

どちらも未曾有の出来事ですが、今こそ、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓ったSDGsの精神が強く求められています。

東北人の粘り強さで、「負けでたまっか!」と、禍を転じる一年にしていきたいものです。

明日は節分。外も内も福でありますよう。

議会報副委員長 武田 新世

スマホで視聴できます

スマートフォン・タブレットで議会が視聴できます。

お気軽にご活用ください。(これまでの議会も視聴できます。)



ウェブサイト

山形市議会 中継 で 検索